

ウチダ チェックライター

P-16

UCHIDA

使用説明書



UCHIDA YOKO CO., LTD.

UCHIDA ONE MOTION CHECK WRITER **P-16**

このたびは、ウチダP16型チェックライターをお求めいただき、誠にありがとうございました。

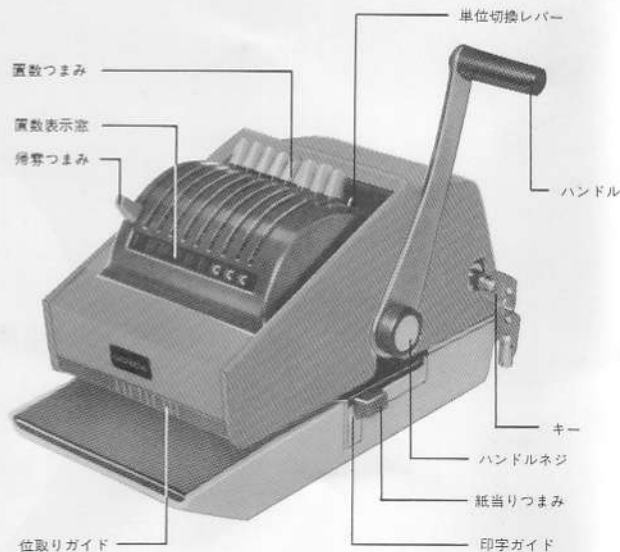
P16型は、ハンドル式チェックライターで、小切手、手形、その他の証券類を印字することができます。また、デノミ実施後にも使用できます。

操作はワンモーションで全金額が一度に押印され、また、同一金額を何回でも繰り返し押印することができます。

数字はウチダ独自の書体と印台により、改ざん防止が完全です。また、インキリボンの採用により一定濃度の鮮明な印字ができます。

ウチダチェックライターで、会計事務がスピードアップされ証券の発行がスムーズになります。

P16型の正しい使い方をご理解いただき、すえ永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



仕様：特長

P-16型仕様

奥 行…………… 280%

横 巾…………… 177%

高 さ…………… 170%

重 量…………… 6.0kg

桁数…最小3桁(百円)

最大9桁(億円)

付属品

ハンドル

ビニールカバー

◇—— 特 長 ——◇

①改ざんの心配がありません

文字輪はウチダ製品独自の書体と印台になっており、小切手、手形の改ざんの心配がなく防犯効果が極めて高くなっています。¥印マークは、自動的に印字されますのでセットの必要はありません、また同一金額を連続して印字することができます。

②楽な姿勢で印字ができます。

置数を見る見出し窓(置数表示窓)は使用する人の視角度に合うようになっており金額が容易に確認でき、置数間違いをすることがありません。またハンドル角度は小さく握りやすくなっておりますので楽に印字操作ができます。

③インキの補給が全くいりません

インキリボンの採用とリボンが自動反復方式の機構によりインキ補給の必要がなく、一定濃度で長期間ムラのない鮮明な印字ができます。

④単位切換え装置があります

デノミ実施等で金額単位切換えの場合は単位切換えレバーの操作で簡単に切換えをおこなうことができます。

——ご使用上の注意——

1. 金額欄に正しく印字するために使用順序3-4の説明をよく読み印字用紙を正しく挿入して印字をしてください。
2. ハンドル操作は必ず最後まで手をはなさず、確実に押し下げ、印字後そのまま元に戻します。途中で手をはなしますと機械にショックを与え、精密に調整された部品に悪影響を及ぼし部品の破損、故障の原因となります。
3. 印字が不鮮明になりましたら、ウチダP16型インキリボンをご使用ください。スタンプインキは文字輪を腐蝕損耗させる原因となりますので絶対にご使用なさないで下さい。もし不適当なご使用による改ざん、防止に対する責任はご容赦いただきます。説明書をよくお読みいただき、機械を正しくご使用下されば、いつまでも故障なく、ご利用いただけます。

使用順序

1. ハンドルを取り付ける



本体右側に取り付けてあるハンドルネジを取りはずしますとハンドル取付軸ができます。その軸にハンドルの穴をはめ込み、その上にはずしたハンドルネジをしっかりと締めつけてください。

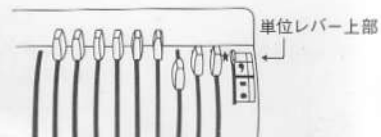
2. 所定の金額に合せる



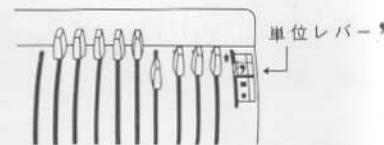
印字する金額は置数表示窓を見ながら置数つまみにて、印字する金額を表示窓にセットします。従って印字する前に印字金額を確認することができます。

¥印マークは自動的にセットされます。カンマ印字は右図単位レバーの使用法を参照ください。

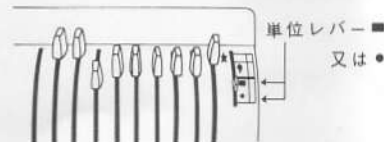
3. 単位レバーの使用法



百円単位 ¥100★ の印字



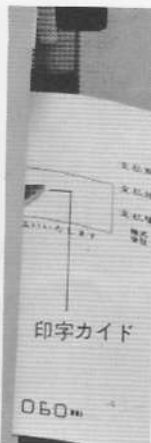
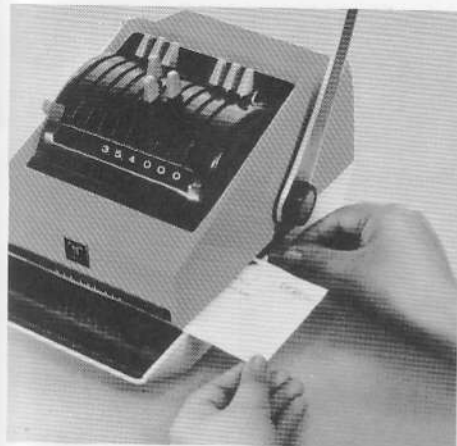
千円単位 ¥1,000★ の印字



¥1,000=00★ デノミ後の印字
¥1,000.00★

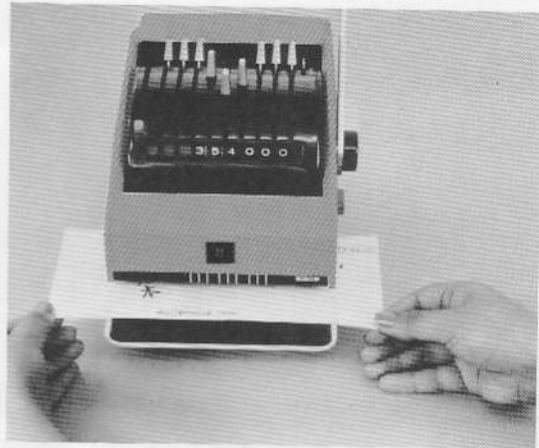
使用順序

4. 用紙挿入と上下位置きめ



用紙を本体全部から挿入し、用紙の金額欄がカバー両サイドの印字位置表示（▷印字ガイド写真参照）の中心になるように紙当りつまみを移動調整して下さい。

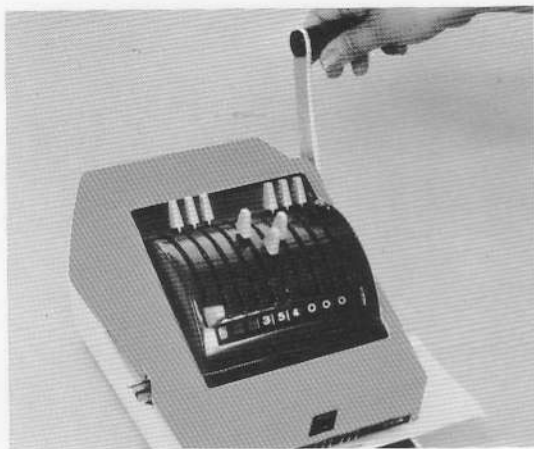
5. 位取り位置きめ



押印文字がどのような桁数の場合であっても用紙の金額欄と位取りガイドを合せますと、金額欄に正しく印字されます。

使用順序

6. ハンドル操作



ハンドルを手前に止まるまで動かしますと、自動的に用紙が固定され、正確な印字位置に鮮明な印字ができます。印字終了後ハンドルは静かに戻してください。

7. 帰零つまみ操作



置数金額をゼロに戻したい場合は、左側の帰零つまみを上方向に押し上げてください。帰零つまみを動かさなければ同一金額を何回でも印字することができます。

インキリボン取りかえ操作

① カバーを取り外す。

本体後部に取りつけてある2ヶ所の白いネジとキーをはずして下さい。カバーは(写真参照)の如く、後部を上げる様にして取りはずします。



カバーの取り付け

⑦

取り付けられたリボンが正しく巻かれるのを3~4回ハンドル操作して確かめてから、カバーを、フレームの前部に手前よりはめ込み、後部を上にして被せます。(取り外した動作と反対)最後に後部の取り外した2ヶ所の白いネジをよく締めつけて下さい。

② フックを外す

ハンドルを手前に引き、本体左右にあるフック止ネジ(写真参照①)を外し、本体上部を下方に押しながらフックを外して下さい。(写真参照②)



前部スプールの装着

⑥

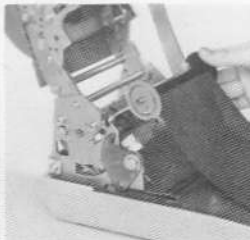
リボンのたるみ分を巻き取り、検出レバー(写真参照)を持ち上げながら前部スプール(黒)を装着し、スプールの両側をロックして下さい。



後部スプールの装着

⑤

交換用リボンの後部スプール(グレー)をスプール溝にはめ込み、リボンをはさまないように注意して、本体上部を静かに下し、両側のフックをかけ、フック止ネジをしっかり締付けて下さい。



③ 前部スプー(黒)の取り外し

前部スプール(黒)をロックしている両側の金具(写真参照)を外しスプールを取り出して下さい。



後部スプール(グレー)の取り外し

④

本体上部を持ち上げ、後方に倒して本体を分割し、後部スプール(グレー)を取り出して下さい。

